

# 14th U.S. National Congress of Theoretical and Applied Mechanics 報告

藤本 岳 洋\*

本稿では、2002年6月23-28日の間（セッション自体は24-28日）、米国 Virginia 州 Blacksburg, Virginia Tech. において開催された 14th U.S. National Congress of Theoretical and Applied Mechanics の内容を報告・紹介する。

本会議は、National Committee on Theoretical and Applied Mechanics (USNC/TAM) の後援によって開かれている。USNC/TAM は、1949年に National Academy of Science（米国科学アカデミー）によって設立されている。

米国で4年に一度開催される本会議は、今回で14回目となる。前回（1998年13回目）の会議は Florida 州 Gainesville, University of Florida で開催されている。また次回会議は Colorado で開催されるとのことである。

今回は、約1100もの講演が計画されていた。学会は5日間行われ、講演一件あたり25分の時間が与えられていた。各日とも最初に総合講演、その後、午前中1セッション、午後2セッションという内容で、会議は進められた。

また、この会議では、著名な研究者の業績を称えたセッションが幾つか開催された。筆者がこの会議を最初に知ったのも、私の恩師である神戸大学富田佳宏先生のセッション 'Advances in Modeling of Deformation and Instabilities in Solids' が開催されたためである。

会議内容は、Applied Mech. というだけあって、力学を広く取り扱っている。流体力学・熱力学・材料力学、振動学およびその境界・複合分野を広く取り扱ったセッションが多く開催されていた。実験、理論、計算を含んだ多様な内容が盛り込まれた会議であるが、特にメゾ・マイクロスケールやナノテクノロジー関連の研究が多数講演されているように感じた。

一件あたりの講演時間を長めに取ったせいか、最大20ものセッションが同時に行われる大きな会議であった。講演時間が長めなので、きめ細かい内容の講演が聴けることが有り難かった。反面、セッション開催部屋が複数の建物に分かれており、セッション中に移動して意中の講演を聴くには、不便さを感じる時もあった。これは開催セッションが多いためやむを得ないともいえるのだが...

次に実験力学関係（James Dally 先生, I.M. Daniel 先生をたたえたセッション）のセッション名を以下に示す。またセッション名が実験的なタイトルでなくても、多数の実

験的研究が報告されていた。

Optical Methods, Dynamic Fracture, Micromechanics, Education in Experimental Mechanics, Mechanical Behavior of Materials, Composite Structures, Hybrid Methods, Fracture and Fatigue, Neutron Diffraction & Synchrotron Radiation Methods

最後に、今回、研究者の業績をたたえた多くの特別セッションが開催され、オーガナイザーの方々、editor の R.C. Batra 先生が積極的に海外の研究者に講演募集をされたため、日本の研究者も多数参加されていた。筆者も親しい方々とお会いすることができ、会議後は楽しいひとときを過ごすことができた。この場を借りてご厚情を賜った方々に御礼を申し上げます。



バンケットにて

左より、森本先生（和歌山大）、西岡先生（神戸商船大）、Thouikov Stanislav 君（神戸商船大学大学院生）